

二食会通信

1月19日
土曜日

発行所 地文研究会天文部
〒153-8902
目黒区駒場 3-8-1
学生会館 307A
TEL 03(5454)4343(呼)

http://gfd00.ms.u-tokyo.ac.jp/tennon/
問題の科学館が
入る郡山駅前
のビルビッグアイ
(13年10月7日
福島・郡山、写真
11田辺 健)

新設科学館

地文研にのっとられる!

昨春秋、JR郡山駅前にオープンした「郡山市ふれあい科学館」。駅前にはただ一つそびえ立つ24階建てのビルの最上部分を占める、宇宙をテーマにした科学館である。プラネタリウムには五藤光学の最新の機器を備え、展示では体験・体感型のものや情報端末などを並べている。福島県内ではまだ数の少ない本格的な科学館ということで、市民の関心も大きく、毎週末には親子連れなどで混みあっている。そんな「ふれあい科学館」が実は東京大学地文研究会、いわゆる「地文研」のメンバーにのっとられていたことが判明した。

【郡山市14日】石原裕子【の】のつとりは科学館の建設段階からすでに行われていたものとみられる。館側は展示物の製作を業者に委託していたが、その監修は東京大学のH田氏に任されていた。H田氏はもともと別の地文研集団である「ちもんず」とも関係が深い、かなり地文研寄りの人物である。H田氏は

展示物、主に情報端末内の解説文の一部を地文研メンバーの数人に書くように依頼していた。この数人のメンバーについてはここで公表することはできないが、彼らが地文研であったことは、ほぼ間違いない。また、開館記念イベントの講演会や、国立天文台ハワイ観測所とのテレビ会議など、科学館の



主要なイベントになると必ず現れるK立T文台・K報F及室長のW部氏(54?)も実は地文研である。彼はK立T文台の顔だからというだけなく、福島県内の会津地方出身でもあるため、科学館ではキャラ的に重宝されているらしい。

そして将来的には先に挙げた「ちもんず」の総ボスであるR化学K究所のE崎氏が講演のため科学館を訪れる予定である。その際「ちもんず」も同行するかどうかは残念ながらまだ定かではない。さらに、現職の職員にも地文研出身者が1名いるとの情報が得られた。I原氏(06)は昨年4月に採用され、現在でも館内の「展示ゾーン」にいらると言われる。来館者を見つけると呼ばれもしないのに近寄って行き、勝手に展示物の解説を始めたり、展示ゾーンの一部にある実験カウンターであやしげな科学実験をしてみ

せたりしているという。福島県郡山市という一見、地文研の本拠地・東京とはなんの縁もない街に出来た科学館が、実は地文研にのっとられていたということは大変な驚きである。すでにT辺氏(11)を始め、N野氏(06)、N本氏(07)、K谷氏(07)、M浦氏(09)、が館を訪れたことが確認されている。今後、他の地文研メンバーが大量に郡山に出入りすることになるであろう。郡山市民の運命やいかに。

測所委員、スポーツ大会実行委員、宇宙制服ゼミ事務局員、流星観測人、太陽観測人、広報が決定した。

ある。調査を行っている田辺は「今回の調査でCHAOSはKH AOSとして昭和55年5月24日に早水輝好(52)が中心となって刊行したものであり、現在までに少なくとも58号が発行されている事が確認された。そして、CHAOSが刊行される4年前には、『本郷の名もない部誌』とも呼ばれる別の部誌が本郷天文部員によって発行されていたことも判明した。詳細はhttp://gfd00.ms.u-tokyo.ac.jp/~ken/tennon/edit/ov/chaos.htmlを見て欲しい」と述べた。

◆駒場新役員就職就任
昨年12月に行われた駒場役員選挙によって13役員8名が選出され、即日就任した。

◆4年ぶりの改訂
地文研OB・OG名簿編集作業進む?
平成10年以来およそ4年ぶりの発行を目指し編集作業が進められている地文研OB・OG名簿であるが、現在のところ住所等の入力作業が終わり、名簿に関して行われたアンケートの集計作業が行われていることが、19日、地文研OB・OG名簿編集部長日下暁人(10)によって明らかにされた。今年度中の発行なるか!?

◆近況報告
堀田敬之(55・80)「80の堀田です。二食会とは懐かしい言葉ですね。行きたい所ですが、父が入院中で看病のため和歌山に帰っている。出席できません。皆様によりしくお伝え下さい。」

◆CHAOS発行調査
中間報告
田辺 健(11)によって行われているCHAOS発行記録調査は、調査作業の大半が終わった模様である。現時点でこれまでの調査で、過去の発行号数や、創刊号の発行年月日などの詳細も明らかになりつつ

また、役職の人事も同日行われ、コック、炊き出し、機材運営委員、観

◆次回二食会
平成15年1月中旬予定